



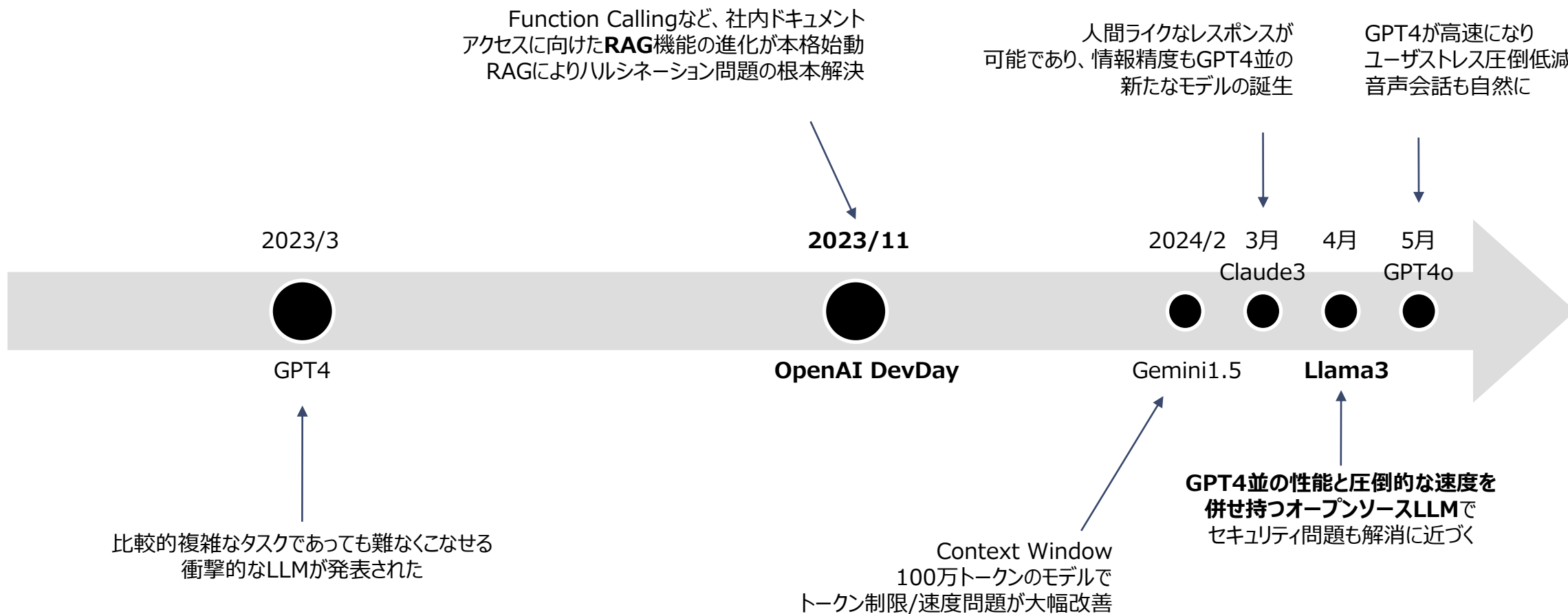
令和6年6月7日 第28回新しい資本主義実現会議 平野発言

新しい資本主義実現のグランドデザイン及び実行計画2024年改訂版を拝見して、本会議が立ち上がってからの2年半を振り返るとともに、未来への大きな希望を感じております。総理のリーダーシップと関係者の皆様の真摯なご活動に心より感謝と敬意を表させていただきます。本当にありがとうございます。

改訂版にある、人類は、従来の延長線上にない非連続な技術革新がもたらす歴史上大きなパラダイムシフトに直面し、テクノロジーの進化に伴う産業構造の変化が非常に速いスピードで進んでおり、活用することで我国自身、大企業もスタートアップもそして、中小・小規模企業もグローバルに活躍の場を広げることができる好機である、との表現その通りだと感じます。

1点目はスタートアップと大企業とのオープンイノベーション連携の浸透と、中小・小規模の企業へとその活動の軸が広がりつつあるという事実です。本会議の成果であるスタートアップ育成5か年計画がこの実現に大きな役割を果たし始めています。生成AI関連技術はその代表的なもので、進展は目まぐるしく、コストの減少も驚くべきスピードだということを日々実感しております。大企業が率先して導入したことにより経済的負担も小さくなり、中小・小規模企業でも導入できる規模となってきています。生成AIの進化やAI導入に関する新時代のビジョンやビジネスモデルについて資料を添付いたしました。本日は説明いたしません、多くの企業で賛同を得ている包括的な内容であり、広島 A I プロセスにおける我が国のリーダーシップと相まって、日本全体の可能性を感じていただけたと思います。

2点目は1点目を前提として、日本が世界で果たすべき役割が変化しているということです。地政学が経済と結びつく地経学への注目度が高まるにつれ、主にアジアとの日常的なやり取りの中で、我国は単純な経済活動規模や成長の速度を上げる以上に大きな役割を果たせると感じています。経済安全保障を前提にしつつ国家的イデオロギーのはざままで世界を俯瞰した外交と密接な経済活動を主導するという改定案の主張に大きく賛同します。大企業も中小・小規模企業もスタートアップも国内のマルチ・ステークホルダーが世界に目を向ける準備は整ったと感じます。あとは我々の覚悟の決め方次第で未来は大きく変化するのではないのでしょうか。来年は大阪関西万博が開催され、また、戦後80周年の年でもあります。本会議でつむぎだされた内容が世界の平和と経済的繁栄の実現、そして未来の世代に貢献することを願ってやみません。



生成AIの進化：かつての問題指摘は恐ろしい勢いで改善されている

かつての問題指摘

生成AIは嘘をつく

生成AIは自社のデータを参照できない

生成AIが思考できる量には限界がある

生成AIは高すぎる

高性能な生成AIはクラウドにしかない

生成AIは遅すぎる



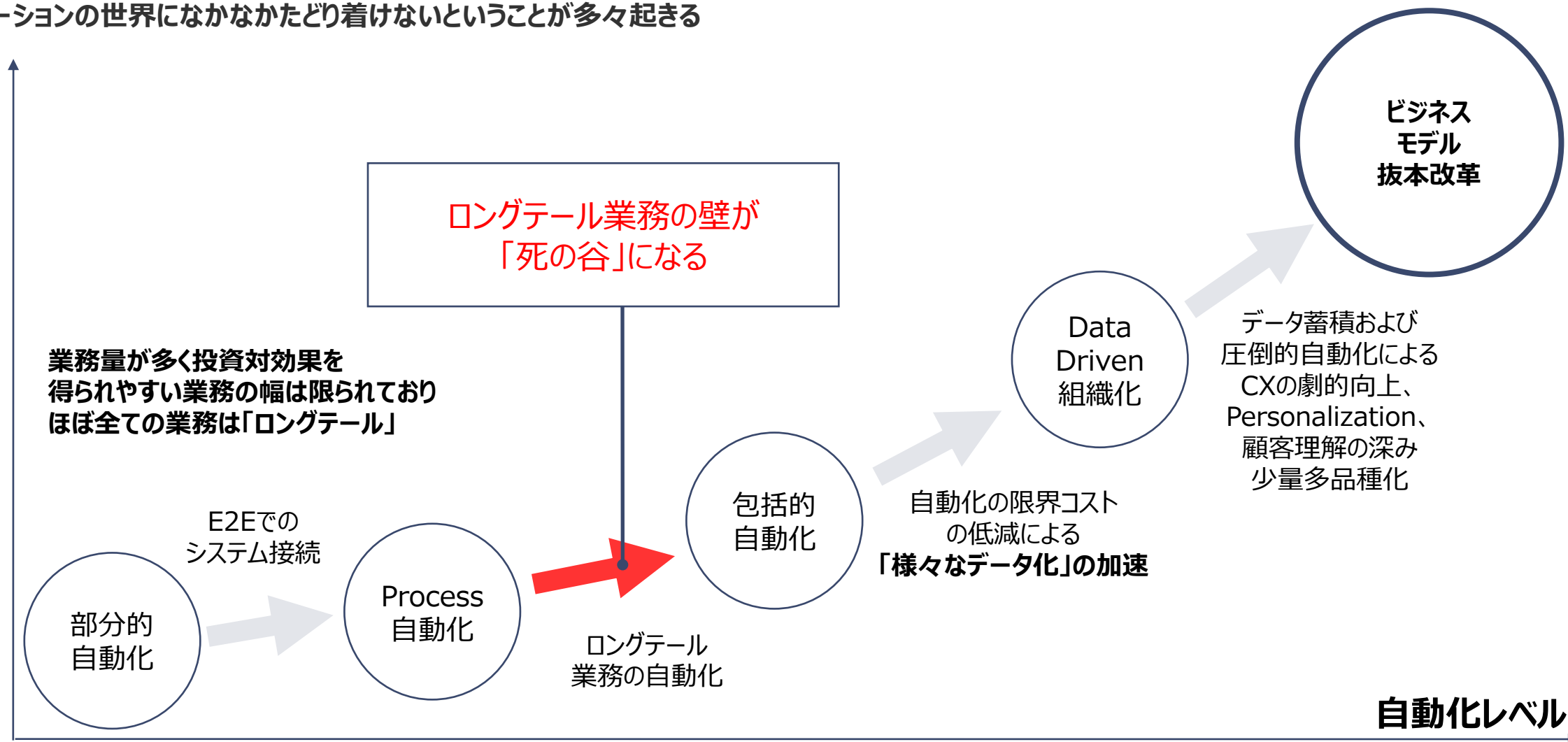
2023年後半から今年にかけておきたこと

RAG (Retrieval Augmented Generation)という技術により
LLMから社内ドキュメントを参照する技術が確立されたことで
これらの限界を突破する技術的素地が完成した

Tsuzumi, Cotomi のようなNon Cloud LLMが出現
Llama3の性能も相当高く、レスポンス速度も相当に早い

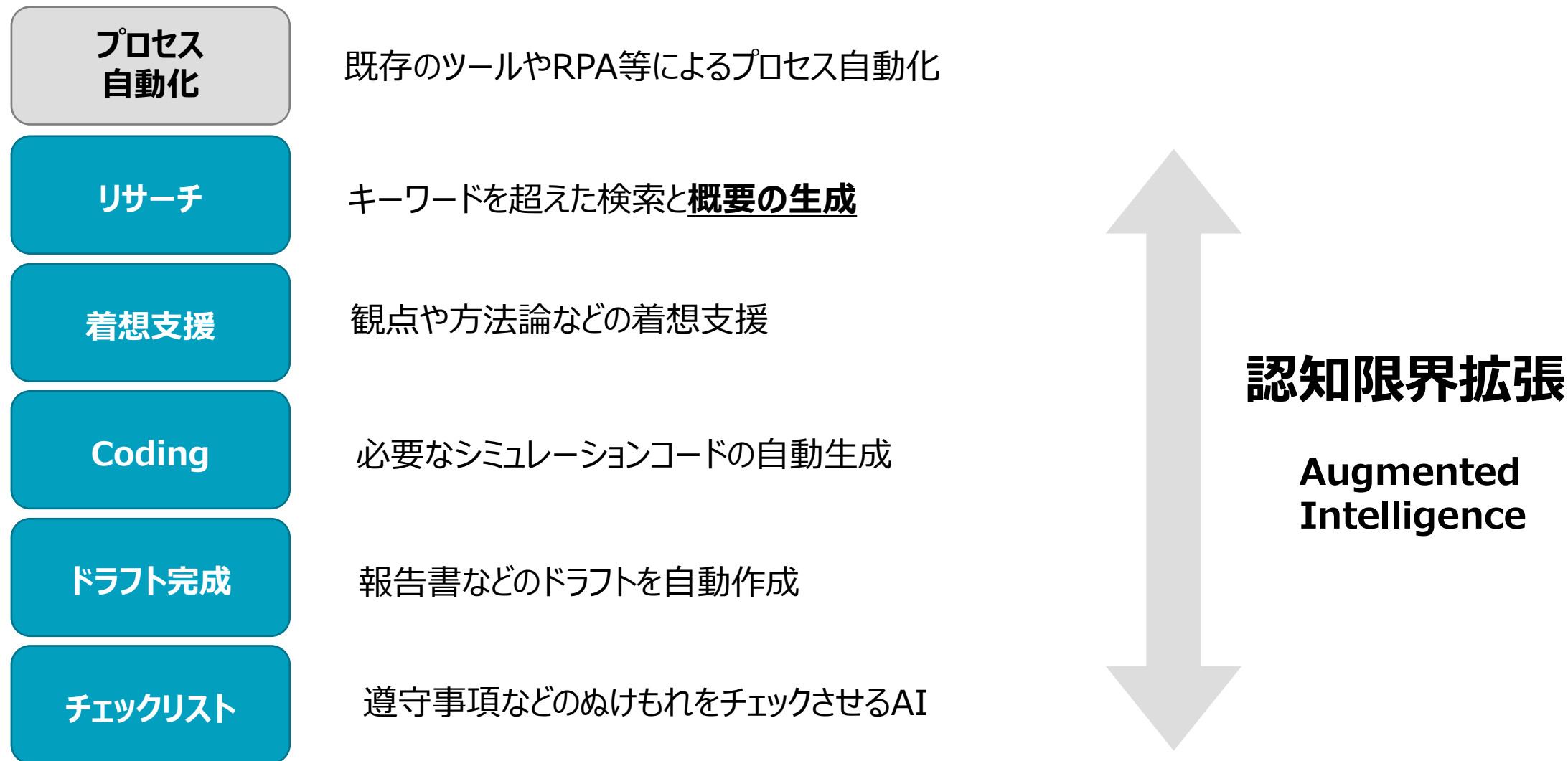
RAG x Private LLMの組み合わせによるブレイクスルー

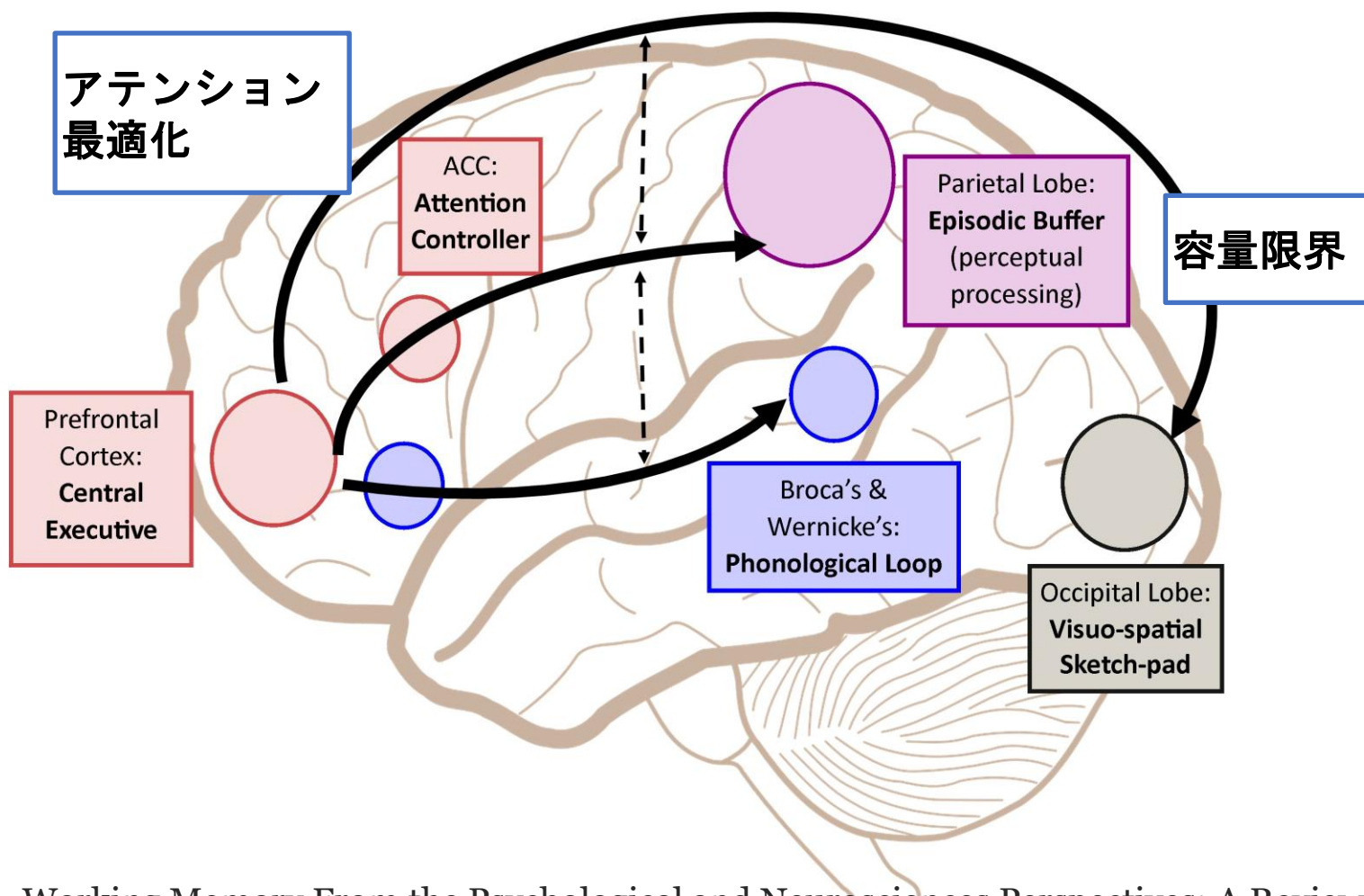
ロングテール業務 1つ1つは、システム改革やBPRなどの施策のROIが得にくく、自動化をすすめるにむづかしいため、包括的自動化に向かえずハイパーオートメーションの世界になかなかたどり着けないということが多々起きる



LLM時代のAI利用の意義 — Augmented Intelligence

コスト削減で考えると施策がブレる。「認知限界拡張」が本質





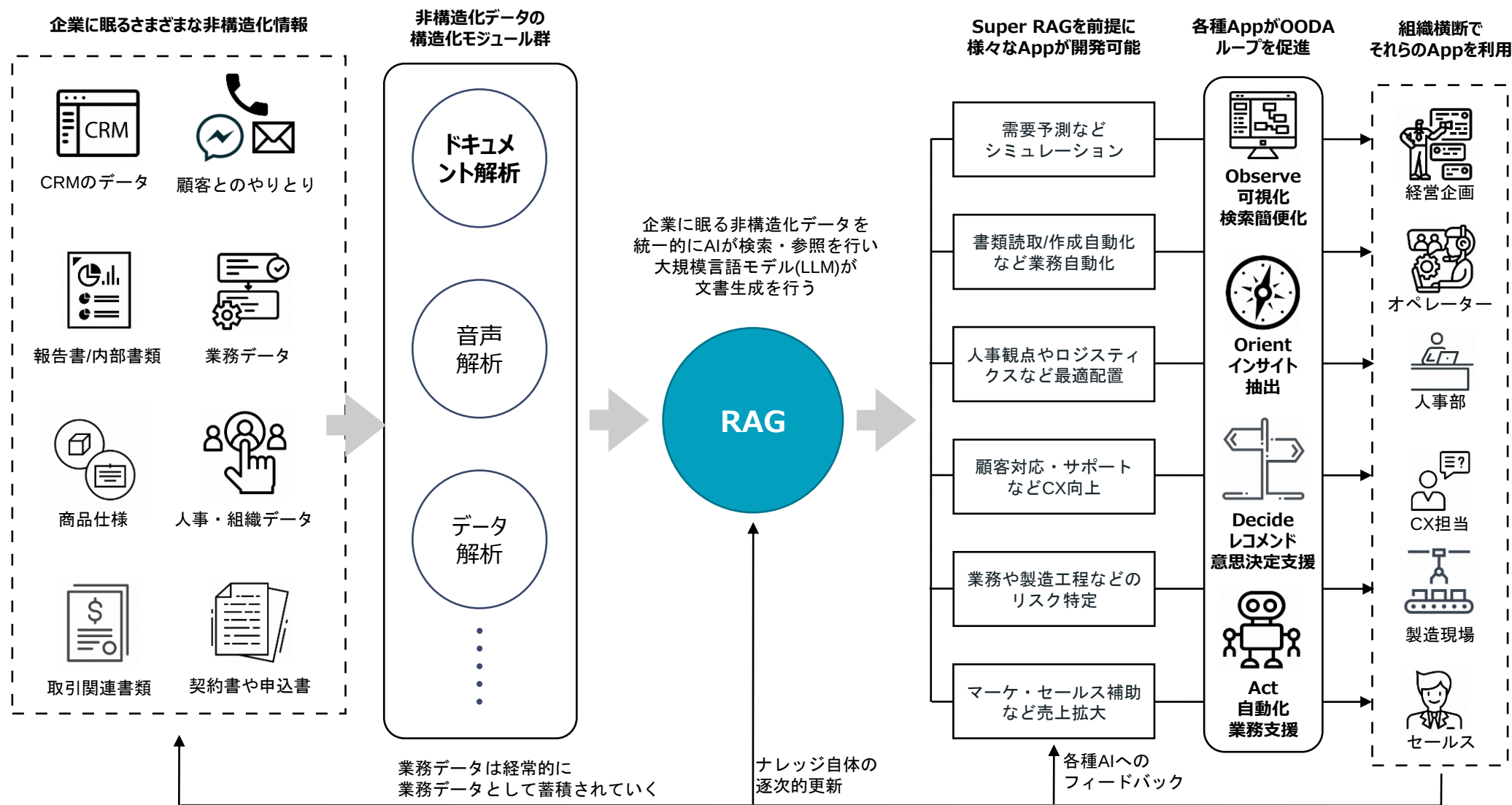
認知能力の限界までは問題进行处理できるが
認知能力の限界を超えると途端に
スタックするのが脳の仕組み

気をつけないきゃいけないことが多すぎると
突如として思考停止する

一般に「頭がいい」とされる人は、問題の
切り分けにより認知負荷を下げる工夫が
上手い

生成AIで変わるビジネスの未来

RAGを中心として各種AIモデルやアプリと組み合わせて経営全体が変革する

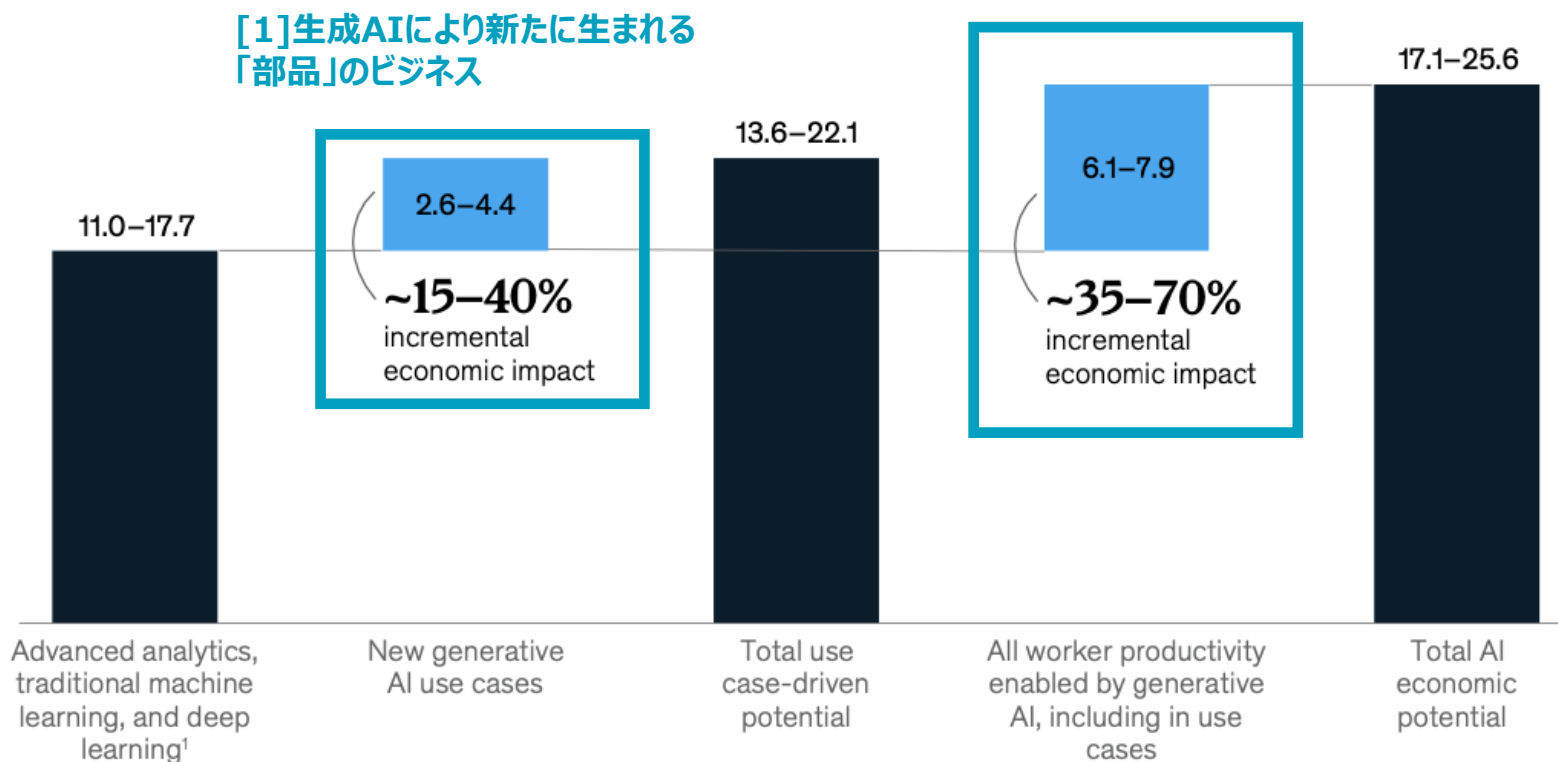


新時代のビジネスモデル：生成AIのおこした地殻変動

ビジネスモデルそのものに大きな地殻変動が起きており、その経済インパクトは7.9兆USD (1200兆) とも見積もられている

AI's potential impact on the global economy, \$ trillion

[2] 働く人の生産性向上で
結果的に起こる顧客提供価値の爆発的向上



McKinsey Digitalのレポート

<https://www.mckinsey.com/capabilities/mckinsey-digital/our-insights/the-economic-potential-of-generative-AI-the-next-productivity-frontier#/>

生成AIで変わるビジネスの未来：2つのパターン

生成AIによって生まれるビジネスの中で特に持続的な競争優位性へと昇華させやすいパターンは多く存在する
特に顧客提供価値の爆発的向上は、「遠い（と思っていた）未来からの逆算」で構築すると全体戦略が見出しやすい

[1]生成AIにより新たに生まれる「部品」のビジネス

モデル

- ・コミュニティにより継続強化されるAIモデル (ElevenLabs, Midjourney等)
- ・特定の業務知見・業務データに基づくAIモデル

インフラ

- ・ユーザーにより継続進化するAI Platform
- ・アクション等の経験量で精度が強化されるデジタルツイン
- ・エンタープライズ向けPlatform

ハードウェア

- ・AIに必要なハードウェア全般 (半導体全般 / 量子コンピュータ)
- ・AIと連動して動くロボティクス等 (ロボットアーム/3D Printer/Drone 等)

[2]顧客提供価値の爆発的向上

生成AIの効果

少量多品種化



その先にある未来

一人ひとりのために個別化された製品・サービス提供

カスタマー
ジャーニー拡大



ライフスパンでの顧客接点維持と価値提供が可能に

ホスピタリティ
強化



徹底したおもてなしがコストほぼゼロで可能に

R&D加速



信じられない速度での持続的技術発展が可能に

限界コスト低減



原価ほぼゼロになり、ビジネスモデルが変革に